

# 平成 31 年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果について

岩国市教育委員会

## 1 調査の概要

### (1) 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査期日 平成 31 年 4 月 18 日(木)

(3) 平成 31 年 4 月 18 日(木)に調査を実施した学校数・児童生徒数

学年	学校数	児童生徒数
小学校第 6 学年	岩国市立小学校 32 校	1,064 人
中学校第 3 学年	岩国市立中学校 14 校	1,002 人

### (4) 調査の内容

① 教科に関する調査(小学校:国語・算数・数学、英語)

各教科とも「知識」と「活用」に関する問題を一体的に出題  
英語については、今年度初めて実施

② 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

ア 児童生徒に対する調査 【小学校…58項目 中学校…69項目】

イ 学校に対する調査 【小学校…64項目 中学校…80項目】

## 2 結果概要

### (1) 教科に関する結果

#### ① 平均正答率

○ 小学校(6年)

	国語	算数
岩国市	65	65
全国	63.8	66.6
山口県	68	67

○ 中学校(3年)

	国語	数学	英語
岩国市	72	61	53
全国	72.8	59.8	56.0
山口県	74	61	55

#### ② 全体の結果

##### ○ 全国平均との比較(平均正答率)

小学校では、国語はやや上回り、算数はやや下回っている。

中学校では、国語はやや下回り、数学はやや上回り、英語はやや下回っている。

### (2) 生活習慣や学習環境に関する結果

#### ① 児童生徒に対する調査

【望ましい状況】

##### ○ 《地域との関わり》

今住んでいる地域の行事に参加していると答えた児童生徒の割合が全国と比べて高い。

##### ○ 《子どもたちの意識》

自分にはよいところがあるという自己肯定感の高い児童生徒の割合が全国と比べて高い。また、将来の夢や目標を持っている、人の役に立つ人間になりたいという児童生徒の割合も全国と比べて高い。

##### ○ 《学習》

国語や算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立

つと回答した児童生徒の割合が高い。また、記述問題について、最後まで解答を書こうと努力した児童生徒の割合も高い。

#### 【課題とみられる状況】

##### ● 《家庭での学習習慣》

学校の授業時間以外の1日当たりの勉強時間や家で自分で計画を立てて勉強をしている児童生徒の割合が、全国と比べて低い。

##### ● 《社会的事象への関心》

新聞をほとんど読まない、または、全く読まない児童生徒の割合が高く、活字による情報収集量が少ない。

## ② 学校に対する調査

#### 【望ましい状況】

##### ○ 《小中一貫教育》

近隣等の小（中）学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った割合は全国に比べて高い。また、教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている割合も全国に比べて高く、令和2年度からの岩国市小中一貫教育の実施に向けた意識が高まっている。

##### ○ 《学習指導》

学校全体の言語活動の実施状況や課題について全教職員で話し合ったり、国語科だけでなく各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだりしている学校の割合は、全国と比べて高い。

##### ○ 《課題の解決に向けた主体的な取組》

調査の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用したり、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行ったりした学校の割合が全国に比べて高い。また、結果を分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行ったり、中学校区で成果や課題の共有を行ったりしている学校の割合も全国と比べて高い。

#### 【課題とみられる状況】

##### ● 《学習指導》

児童生徒間で話し合い、互いの意見のよさを生かして意思決定をしたり、解決方法などを合意形成したりできるような指導を行っている割合の高さと、児童生徒の認識が一致するような工夫をしていくことが課題。

### (3) 今後の対応

#### ○ 年2回の検証改善サイクルの確立

「全国学力・学習状況調査」及び「学力定着状況確認問題」において、学力状況と質問紙等の結果把握と分析に基づき、具体的な指導の工夫改善を図ることができるよう支援する。

#### ○ 授業改善

「岩国市：授業スタンダード」に則った授業の実施をめざし、自分の考えを話したり書いたりして伝える場をさらに設け「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を進める。

#### ○ 地域との連携した取組の推進

令和2年度の岩国市小中一貫教育の一斉実施に向けて、めざす子供像や課題等を共有し、9年間を見通した教育課程を編成するなど、各中学校区において取り組みを進める中で、学力向上とともに地域とのより深い連携を推進する。

### 3 教科ごとの結果

#### (1) 小学校

##### ① 国語

###### 【相当数の児童ができている点】

- ・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える。
- ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。
- ・文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く。

###### 【課題のある点】

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる。
- ・目的に応じて、質問を工夫する。

##### ② 算数

###### 【相当数の児童ができている点】

- ・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる。
- ・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる。

###### 【課題のある点】

- ・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる。
- ・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の使用量の何倍か読み取ることができる。
- ・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる。

#### (1) 中学校

##### ① 国語

###### 【相当数の生徒ができている点】

- ・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く。
- ・書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する。

###### 【課題のある点】

- ・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える。
- ・語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する。

##### ② 数学

###### 【相当数の生徒ができている点】

- ・反比例の表から、 $x$ と $y$ の関係を式で表すことができる。

- ・数の集合と四則計算の可能性について理解している。
- ・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理している。

**【課題のある点】**

- ・資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる。
- ・事柄が成り立つ理由を説明することができる。
- ・簡単な連立二元一次方程式を解くことができる。

**③ 英語**

**【相当数の生徒ができている点】**

- ・語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる。
- ・教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる。
- ・一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる。

**【課題のある点】**

- ・文の中で適切に接続詞を用いることができる。
- ・一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる。
- ・日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる。
- ・まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる。